

えんがわ

第66号

2012年9月発行

発行元
衣笠病院グループ
横須賀市小矢部
2-23-1
Tel 046-852-1182

煌めく光

一瞬の煌めく光を感じる
ことがある。まだ子供だっ
た頃、クリスマス夜のキャロ
リングに参加した時のこと
だった。私達は一軒一軒
回って歌ったが、ある老婦
人が感涙した。私達の夜の
帳に響く歌声が煌めく光に
包まれるのを感じたのを覚
えている。二度目は往年の
ピアノスト、ホロビッツが
スカルラッティのソナタを
弾いた時のことだ。どこま
でも透明でそして底抜けに
明るい音色は、ピアノから
離れそしてきらきらと光輝
いていた。まるで天から音
が舞い降りてきたかのよう
だった。三度目は南インド
の海辺。子供達がキャッキ

ヤツとはし
やぎ笑いな
がら跳ね返
すしぶきに
夕陽の光が
反射して煌
めいていた。それから何年
たったことだろう。私は病
院にいた。そこには多くの
病人と家族がいた。亡き夫
のペースメーカーを持ち
「これは主人のハートです。
私に洗わせてください」と
いう妻、亡き父に「お疲れ
様でした」と礼をする息子、
これら真実の姿は、個々の
人生の最後の煌めきの反射
なのかもしれない。苦難の
多い人生、皆この一瞬の輝
きのために生きているのか
もしれない。



衣笠病院医師 梶谷雅子

えんがわ在宅 ひとくちメモ

わたしのカルテ

カルテ（診療情報）って
誰のものだと思いますか？
従来は、“診療を行う医師
のもの”という考えが強
かったですね。誰のもの
と限定しなくても、診療の場
面で検査データを渡された
り、具合の悪い場所を凶に
書いて説明を受けることも
多いと思います。また、少
し前までは、診察費用のレ
シートを請求するのはなん
だか言いだしにくい雰囲気
でしたが、検査料などを明
示した領
収書を受
け取る事
は当たり
前になり
ました。
診療情報
を共有し



て、病院と患者さんが信頼
関係を築き、よりよい治療
を行うためです。一方、診
療情報は重要な個人情報で
もありませんから、散逸や漏
洩を防ぎ最新の状態で診療
ができるように管理する必
要もあります。冒頭の答え
は、現在のところ“患者さ
んのもの”だけど病院が管理
しています”です。厚生労
働省や神奈川県で“マイカ
ルテ”について研究を進め
ています。出生状況や、大
きな病気や手術、現在の服
薬状況などを患者さん自身
も自己管理する時代も近く
まで来ています。

診療情報管理室長

持田和子

皆様は晴れ男、女ですか。
8月4日に衣笠病院祭があ
りました。準備中に雨が降
り中止も予想されました
が、雨はすつかり上がり開
催することができました。